

# 特集 決算報告

—平成26年度各会計決算から見る町の財政事情—

※四捨五入の関係上、合計数値が合わない場合があります。

平成26年度の町の決算が9月町議会にて承認されました。平成26年度に町にどのくらいお金が入ったのか、また、町はどのくらいお金を使ったのか報告します。

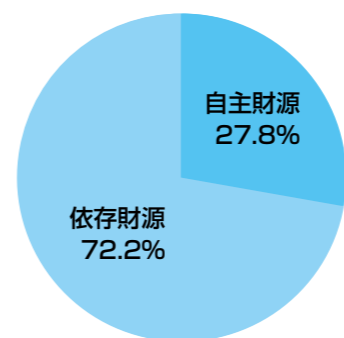
## 【和町の財布】

町のお金を出し入れするた  
めに、「一般会計」、「特別会計」  
という財布を用意しています。  
通常出し入れするお金は「一般  
会計」という財布、そして「特別  
会計」という財布は、特定の事  
業のために使うお金を出し入  
れるためのものです。「特別  
会計」という財布の中は9の事  
業に分かれていて、病院事業や  
簡易水道事業などの「公営企業  
会計」、国民健康保険事業や介  
護保険事業などの「公営企業会  
計」以外の特別会計に分けら  
れ、それぞれの目的以外には使  
わないことになっています。

「歳入の27.8%が自主財源」  
入ってくるお金(歳入)の中は  
2つの財源で成り立っています。  
自主財源は、町が自主的に  
収入できる財源のことです。町  
税、分担金及び負担金、使用料、  
手数料、財産収入、寄附金、繰入  
金、繰越金、諸収入などです。も  
う一つの依存財源は、国や県の  
基準に基づき交付されたり、割  
り当てられたりする財源で地  
方交付税、地方譲与税、国庫支  
出金、県支出金、地方債などで  
す。割合を見ると、自主財

源が27.8%、依存財源が72.2%となっており、自主財源比  
率は低く、国、県からの依存財  
源に頼っている状況です。今後  
も、町税の徴収強化、定住促進  
や企業誘致などの取組みによ  
り自主財源を増やす努力を続  
けていきます。

## 自主財源と依存財源の割合



「一般会計」の財布から出し  
入れしたお金について説明しま  
しょう。平成26年度に入ってきた  
お金(歳入)は79億8,728

町では、新しい年度が始まる  
前に「当初予算」を組みます。目  
的ごとに細かく決められた当  
初予算によって、その年度の支

## 町税の内訳

税目	収入額
町民税	個人 2億6,812万円
	法人 4,352万円
固定資産税	4億1,520万円
軽自動車税	3,703万円
町たばこ税	5,627万円
入湯税	277万円
合計	8億2,291万円

## 一般会計の財布

項目	金額
入ってきたお金(歳入)	79億8,728万円
使ったお金(歳出)	70億8,535万円
差し引き額	9億193万円
平成26年度に繰越して 使うお金	1億2,207万円
実質収支	7億7,986万円

出が行われます。平成26年度の  
一般会計の歳出、町が使ったお  
金は70億8,535万円、最も  
多いのが総務費、次に民生費、  
公債費、教育費の順となってい  
ます。この額を人口で割ると、  
町民一人当りに使われたお  
金は約66万円となります。

## 財政用語辞典

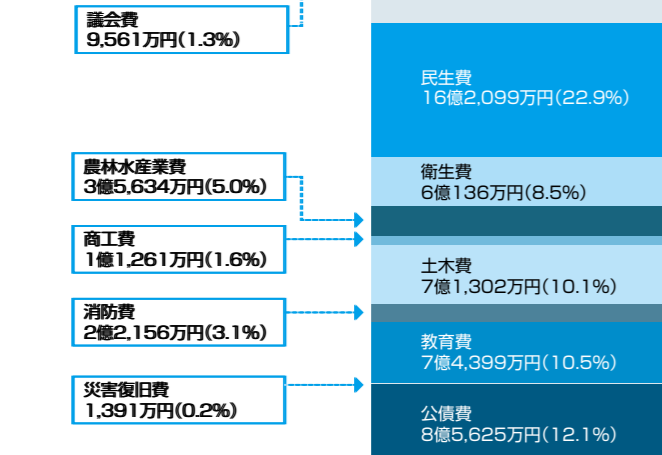
**決算**  
一会計年度の歳入歳出予算の執行実  
績。  
**歳入**  
会計年度における全ての収入。  
**歳出**  
会計年度における全ての支出。  
**自主財源**  
地方公共団体が自主的に収入できる  
財源。地方税、分担金及び負担金、使  
用料、手数料、財産収入、寄附金、繰  
入金、繰越金、諸収入。  
**依存財源**  
国や県により定められた額を交付さ  
れたり、割り当てられたりするもの。  
国庫支出金、県支出金、地方交付税、  
地方譲与税など。

**基金**  
特定の目的のために、積立てる資金  
または財産。その目的によって、順次  
積立てていくもの、定額を運用して  
いくものなどがある。  
**起債(借入)**  
施設整備など下水道や学校、道路な  
どのために年度を越えて長期(1年  
以上)に借り入れるお金を「起債(地  
方債を起すこと・借金)」という。  
学校や道路、施設などは将来にわた  
り継続して利用することができるの  
で今の世代と次の世代の税金で建設  
費用を返済という形で分担してもら  
う効果があります。家計にたとえ  
ると、家を建てる際に大きな金額を二  
度に支払えないため、場合によっては子  
どもと二世帯ローンを組んで長期に  
返済する行為といえます。

歳出 70億8,535万円

歳入 79億8,728万円

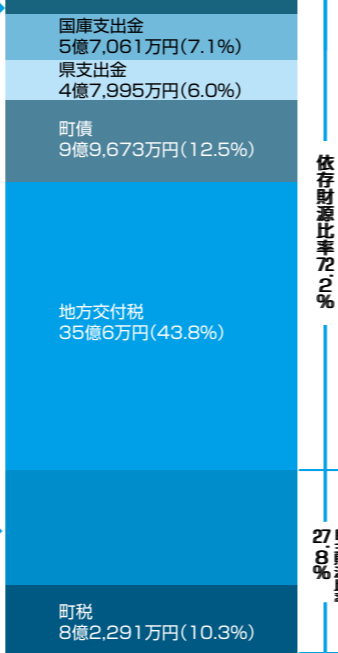
一般会計の歳入から歳出を  
差し引いた額は9億193万  
円。この額から平成27年度  
に繰越して使う金額を引い  
た実質収支額は7億7,986  
万円となります。



歳出決算額は前年度と比べて1.3%の増です。総務費、民生費、公債費が増加  
となりました。

地方譲与税  
6,664万円 (0.8%)  
利子補交付金  
124万円 (0.0%)  
配当金交付金  
449万円 (0.1%)  
株式等譲渡所得割交付金  
448万円 (0.1%)  
地方消費税交付金  
1億2,389万円 (1.6%)  
ゴルフ場利用税交付金  
1,201万円 (0.2%)  
自動車取得税交付金  
595万円 (0.1%)  
地方特例交付金  
218万円 (0.0%)  
交通安全対策特別交付金  
155万円 (0.0%)

分担金及び負担金  
5,318万円 (0.7%)  
使用料及び手数料  
5,489万円 (0.7%)  
財産収入  
1,095万円 (0.1%)  
寄附金  
331万円 (0.0%)  
繰入金  
1億9,549万円 (2.4%)  
繰越金  
10億3,176万円 (12.9%)  
諸収入  
4,504万円 (0.6%)



歳入決算額は前年度と比べて0.5%の減です。これは三加和区域に  
おける学校建設に伴う国庫補助金が減額したためです。

## 町民一人当たり換算

(平成27年3月31日現在 人口10,807人で計算)

町民一人に  
使われたお金 **655,626円**

町民一人が  
支払った町税 **76,146円**

### 基金(貯金)の状況

和町の全会計の基金(貯金)の残高は78億8,011万円となっています。  
町民一人当たり換算(平成27年3月31日現在 人口10,807人で計算)すると

一人当たり ≙ **729,639円**

### 起債(借金)の状況

和町の全会計の起債(借金)の残高は94億1,063万円となっています。  
町民一人当たり換算(平成27年3月31日現在 人口10,807人で計算)すると

一人当たり ≙ **871,356円**

## 町の家計簿

平成26年度一般会計決算額を1カ月の  
家計簿に例えると…(月収30万円と仮定)



収入	内 訳	金 額	構成比
給料	(住民税、固定資産税などの町税)	30,908円	10.3%
親からの仕送り	(地方交付税、国庫支出金など)	179,274円	59.8%
その他の収入	(分担金、使用料、諸収入など)	13,629円	4.5%
借入金(町債)		37,437円	12.5%
前月からの繰越し(繰越金)		38,752円	12.9%
収入合計		300,000円	100.0%

支出	内 訳	金 額	構成比
食費など(人件費)		40,410円	13.5%
光熱水費、通信費(物件費)		26,006円	8.7%
家の新築や車の修理 (投資的経費、維持補修費)		36,716円	12.2%
介護・医療費(扶助費)		31,685円	10.6%
家族への仕送り (繰入金、補助費など)		72,380円	24.1%
保険など(積立金)		26,765円	8.9%
ローンの返済(公債費)		32,161円	10.7%
翌月への繰越し(繰越金)		33,877円	11.3%
支出合計		300,000円	100.0%

収入の3分の2を親からの仕送りに頼っており、給料は  
わずか10.3%といった状況です。支出では食費、光熱  
費、家族への仕送りは減少し、家の新築や車の修理、介  
護・医療費は増加しました。